



海外感染症情報

情報源：

厚生労働省検疫所ホームページ

(<http://www.forth.go.jp>) 新着情報

発生地域	更新年月日	情報内容
アフリカ	2014年08月21日	西アフリカでエボラ出血熱が発生しています（更新44）★

★【2014年08月21日更新 西アフリカでエボラ出血熱が発生しています（更新44）】

8月20日付けの世界保健機関（WHO）の情報によりますと、西アフリカにおけるエボラ出血熱の発生状況は以下のとおりです。

2014年8月18日の時点で、ギニア、リベリア、ナイジェリア、シエラレオネの4か国においてエボラ出血熱ウイルスに感染した患者の累計数は、死亡者1,350人を含む2,473人となりました。

エボラ出血熱の発生状況－2014年8月18日現在

（単位：人）

	新たな患者数*	確定患者数	可能性のある患者数	疑いのある患者数	国別総数
ギニア 患者数	36	423	140	16	579
死亡者数	2	254	140	2	396
リベリア 患者数	126	242	502	228	972
死亡者数	95	212	239	125	576
ナイジェリア 患者数	0	12	0	3	15
死亡者数	0	4	0	0	4
シエラレオネ 患者数	59	783	52	72	907
死亡者数	9	335	34	5	374
総数 患者数	221	1,460	694	319	2,473
死亡者数	106	805	413	132	1,350

※2014年8月17日から8月18日までの期間に報告された新たな患者数

飛行機による旅行でエボラ感染を起こすリスクは低い

WHO Global Capacity Alert and Response のディレクターであるイサベル・ナトール医師は、「インフルエンザあるいは結核のような感染症と異なり、エボラは空気を介して感染しません。エボラはその病気に罹患した人の体液との直接接触によってのみ感染する可能性があります。」と説明しています。

飛行機にエボラに罹患した患者がいる僅かな可能性がある場合も、他の乗客および乗組員が患者の体液と接触を持つ可能性はさらに小さいと考えられます。通常、誰かがエボラに罹患している場合、非常に体の具合が悪いので、旅行することはできません。したがって、WHOは感染の影響を受けた国々への、あるいは国々からの渡航禁止令を出さないように勧告します。

「飛行機上でエボラに感染するリスクは非常に低いので、WHOは飛行機による輸送でハブとなる地点で、エボラがさらに拡散する危険が高いとは考えていません。」とナトール博士は説明しています。